

九州高等学校文化連盟

第38回九州高校放送コンテストならびに校内放送活動研究集会 大分大会 実施要項

1. 目的

現代に生きる高校生の豊かな人間性の育成と、未来への展望を持つ人間としての成長をめざし、あわせて九州地区における校内放送活動の健全な育成と放送教育の推進をはかる。

2. ねらい

- ア. 美しく豊かな日本語を大切にできる心情を育て、あわせて、話す力、表現する力を高める。
- イ. 校内マスコミの送り手としての自覚と創造性を育てる。
- ウ. 学校生活の中にうるおいをもたらす、心のふれあいの場をつくる。
- エ. 現代社会における人としてのあり方、生き方を学ぶとともに、放送のはたす役割を考える。
- オ. 九州地区における校内放送活動の向上をはかる場をつくる。

3. 主催 九州高等学校文化連盟 大分県高等学校文化連盟

4. 共催 NHK大分放送局

5. 主管 九州高等学校文化連盟放送専門部 大分県高等学校文化連盟放送専門部

6. 後援(予定) 大分県教育委員会

7. 大会会場 別府国際コンベンションセンター B-CON PLAZA
〒874-0828 別府市山の手町12番1号
TEL.0977-26-7111 FAX.0977-26-7100

8. 大会宿舎

- ① 別府温泉 ホテル ニューツルタ
〒874-0920 大分県別府市北浜 1-14-15 TEL 0977-22-1110 FAX 0977-21-1019
- ② ホテル別府 パストラル
〒874-0836 大分県別府市東荘園町1丁目4 TEL 0977-23-4201 FAX 0977-25-3610
- ③ ホテル サンバリー
〒874-0919 大分県別府市石垣東 10-2-33 TEL 0977-25-1171 FAX 0977-21-6030
- ④ ホテル サンバリーアネックス
〒874-0919 大分県別府市石垣東 10-1-20 TEL 0977-26-6555 FAX 0977-26-5530
- ⑤ 別府亀の井ホテル
〒874-0936 大分県別府市中央町 5-17 TEL 0977-22-3301 FAX 0977-21-1232
- ⑥ 西鉄リゾートイン別府
〒874-0920 大分県別府市北浜 2-10-4 TEL 0977-26-5151 FAX 0977-26-5157
- ⑦ 別府温泉 花菱ホテル
〒874-0920 大分県別府市北浜 2-14-29 TEL 0977-22-1211 FAX 0977-21-2664

宿舎に関する問い合わせ先

JTBトラベルサロン日田 担当：阿井 幸太郎（あい こうたろう）
 〒877-0046 大分県日田市本庄町1-13 TEL 0973-22-4317 FAX 0973-22-4398
 MAIL k-ai@jtbhita.jp

9. 大会日程

平成28年12月14日（水）～16日（金）

日	時間	概要	会場
14 （水）	13:00～16:00	総合受付	1F エントランスホール
	15:00～16:30	運営委員会	会議場棟 B1F 小会議室2・3
	17:00～17:30	開会行事 ・開会のことば ・主催者挨拶 ・来賓挨拶 ・優勝杯返還 レプリカ授与 ・諸連絡	フィルハーモニアホール
	18:00～19:00	審査委員会	会議場棟 B1F 小会議室2・3
15 （木）	9:00～ 9:30	出場受付	1F エントランスホール
		アナウンス	
		ラジオ番組	
		テレビ番組	
	9:50～13:00	アナウンス部門準決勝	フィルハーモニアホール
	10:30～17:00	ラジオ番組部門準決勝	会議場棟3F 小会議室31
	10:00～17:10	テレビ番組部門準決勝	会議場棟1F 中会議室
	12:30～12:50	朗読部門出場受付	1F エントランスホール
13:20～16:50	朗読部門準決勝	フィルハーモニアホール	
17:30～18:20	校内放送活動研究集会①	フィルハーモニアホール	
19:30～21:30	校内放送指導者協議会	杉乃井ホテル（予定）	
16 （金）	8:00～	決勝進出者・決勝進出作品発表	各宿舎
	9:00～ 9:30	決勝出場受付	1F エントランスホール
	10:00～11:00	アナウンス部門決勝	フィルハーモニアホール
	10:00～12:00	ラジオ番組部門決勝	会議場棟3F 小会議室31
	10:00～12:10	テレビ番組部門決勝	会議場棟1F 中会議室
	11:10～12:20	朗読部門決勝	フィルハーモニアホール
	12:30～13:10	閉会行事 ・講評（校内放送活動研究集会②） ・成績発表ならびに表彰 ・主催者挨拶 ・次期開催県挨拶（沖縄県） ・閉会のことば	フィルハーモニアホール
	13:10～13:20	諸連絡	

※昼食会場 3F 小会議室32, 33, その他公共スペース

10. コンテスト実施各部門ならびにエントリー数

部 門	エントリー数	決勝進出数
アナウンス	72名 (各県8名 但し福岡県及び開催県は12名)	20名程度
朗読	72名 (各県8名 但し福岡県及び開催県は12名)	20名程度
ラジオ番組	40作品 (各県5作品)	10作品
テレビ番組	40作品 (各県5作品)	10作品

11. 表彰

	アナウンス	朗読	ラジオ番組	テレビ番組
優 勝	1名	1名	1作品	1作品
	優勝杯、賞状			
準優勝	1名	1名	1作品	1作品
	トロフィー、賞状			
第3位	1名	1名	1作品	1作品
	トロフィー、賞状			
優良賞	各部門決勝進出17名程度		各部門決勝進出7作品	
	賞状			
奨励賞			各部門5作品程度	
			賞状	
入賞 (全参加者)	全エントリー			
	賞状			

12. 校内放送活動研究集会

各部門についての講評及び研修と九州各県高校放送部活動の報告などを実施し、文化交流を深める。

13. 各部門の課題・参加規定

(1) アナウンス部門

① 自校のニュースや解説など、高校生活を語る若者の声を内容とし、原稿は自作したものに限る。

② エントリー番号、氏名を含め、1分10秒以上、1分30秒以内でアナウンスする。

※ 学校名は読まず、エントリー番号の後にすぐ氏名を読む。

③ ~~原稿内容を、所定の様式(HIPよりひな形をダウンロード)に各県事務局がまとめて入力して提出する。~~

④ 審査基準

(a) 校内放送に使用する内容であること。

(b) 審査の視点

内容

(ア) 素材の選び方は適当であるか。

(イ) 文章表現は適当であるか。

アナウンスの技術

- (ア) 自然な発声で聞き手に伝わるようにアナウンスしているか。
 - ・発声 ・発音 ・マイクの使い方
 - (イ) 正しく意味を伝える抑揚表現ができていないか。
 - ・内容把握 ・イントネーション ・プロミネンス ・アクセント
 - (ウ) 間(ポーズ)は適切か。
 - ・テンポ ・ポーズ
 - (エ) 元気があり、明るく演じるものは良いが、歌い上げ・作り声・バスガイド調などの、不自然なアナウンスは高く評価しない。
- (c) 採点…点数は 100 点法で総合的に採点する。

(2) 朗読部門

①次の指定課題 4 作品から 1 作品を選び、朗読する。作品の脚色は一切認めない。

作品番号	1	2	3	4
書名	無双の花	皿と紙ひこうき	食卓の情景	小公女
著者名 (訳者名)	葉室麟	石井睦美	池波正太郎	フランシス・ホジソン・バーネット (訳：畔柳和代)
出版社	文春文庫	講談社文庫	新潮文庫	新潮文庫

②エントリー番号、氏名、作者名、作品名を含め、1分30秒以上2分00秒以内で朗読する。

※学校名は読まず、エントリー番号の後にすぐ氏名、作者名、作品名を読む。

※作品番号3については、短編名を読み、作品名は読まない。

※作品番号4については、作者を「バーネット」と読み、訳者名は読まない。

※抽出は文頭から開始し、文末で終了とすること。一文途中の開始や終了は改変とみなす。本文中の()内も読むこと。(読み仮名・訳者注を除く)

③審査基準

(a) 審査の視点

内容

- (ア) 作品の選定は適当であるか。
- (イ) 朗読として適切な部分を抽出しているか。

朗読の技術

- (ア) 内容表現上、声の出し方や言葉の運びが自然で適切か。
 - ・発声 ・発音 ・マイクの使い方
- (イ) 正しく意味を伝える抑揚表現ができていないか。
 - ・内容把握 ・イントネーション ・プロミネンス ・アクセント
- (ウ) 間(ポーズ)は適切か。
 - ・テンポ ・ポーズ
- (エ) ラジオドラマ調、演劇調、一人芝居調などが過度に演出されているものは高く評価しない。

(b) 採点…点数は 100 点法で総合的に採点する。

(3) アナウンス・朗読に共通する事項

①原稿 3 部を **12月2日(金)** までに提出する。

規定用紙を使用し、袋とじ(仕上がり A5 判)とする。第 1 頁を表紙とし、本文は、第 2 頁以降に記入する。表紙の部門名上部の○を指定の色で塗りつぶすこと。アナウンスは「青」、朗読は「赤」とする。

②提出された原稿は返却しない。

③準決勝、決勝ともに、各自の原稿の他に課題原稿を加える。

(4) ラジオ番組部門

- ①作品は、6分30秒以上、7分00秒以内とする。
- ②作品提出するメディア（媒体）、データの形式、メディア（媒体）の作成方法は以下のとおりとする。
 - ・CD-R…CD-Audio形式とする。トラックは1つのみで作成すること。
 - ・バックアップとして、受付時（12月14日）に別途CD-R（CD-Audio形式）を提出する。
- ③番組の最後には「制作は〇〇高等学校放送部（委員会）でした。」というクレジットコールを入れる。
- ④計時は、最初の音から、クレジットコールの終わりまでとする。
- ⑤クレジットコールには、音楽などの他の音声がかぶってはならない。
- ⑥審査基準
 - (a) 校内放送に使用する内容であること。
 - (b) 審査の視点
 - テーマ（伝えたい内容）
高校生ならではの視点で、高校生を取り巻く環境の中からテーマを設定し、それを番組の中で効果的に表現しているか。
 - 制作技術
 - (ア) メディアの選択は適切か
 - (イ) 制作方法
 - (ウ) 取材の方法や努力
 - (エ) 企画・構成
 - (オ) 演出・編集
 - (カ) 音声や効果音の使い方
 - (キ) 内容伝達力
 - (ク) 番組進行表の作成
 - (c) 採点…点数は100点法で総合的に採点する。

(5) テレビ番組部門

- ①作品は、7分30秒以上、8分00秒以内とする。
- ②作品提出するメディア（媒体）、録画方法、データの形式、メディア（媒体）の作成方法は以下のとおりとする。
 - (ア) ハイビジョン形式…BD-R（BD-AV形式・MPEG-2またはMPEG-4 AVC/H.264）とする。
1080i、720i いずれも可。
 - ・BD-Rは、必ず「クローズ（ファイナライズ）」処理をして追記できないディスクにすること。
 - (イ) SD形式…DVD-video形式とする。メニュー（音のないもの）で作品トラックのみを選択再生できるもの、または自動再生させる設定で作成する。
 - ・家庭用ハードディスクレコーダー等で作成されたDVD-videoの場合は、必ず「クローズ（ファイナライズ）」処理（汎用のDVD再生機で再生できる状態）を行うこと。
 - ・アスペクト比は16:9（ワイド）のみとする。
 - ・規定のテストパターン（本大会ホームページよりダウンロード可）を作品の前後に、5秒間ずつ使用する。
 - ・バックアップとして、受付時（12月14日）に別途BD-RまたはDVD-R提出する。

※提出するBD-RまたはDVD-Rは、データの互換性にご留意の上、作成した機器のみでなく市販のプレーヤー等複数の機器で再生できることを確認の上、提出して下さい。
- ③計時は、テストパターンを除いた部分（本編）についておこなう。
- ④テレビ局等の第三者が撮影した素材が主である作品は、失格とする。
- ⑤審査基準
ラジオ番組に同じ。

(6) ラジオ番組・テレビ番組に共通する事項

- ①高校生活に素材を求めた作品、あるいは高校生活と地域社会とのかかわりを考えた作品で、高校生の視点で描いた独創的な作品であり、それぞれのメディアの特性を生かした作品とする。
ドラマ調の場合には、出演者は自校生徒に限る。
- ②番組進行表・作品の提出日
 - ・番組進行表1部（郵送）…**12月2日(金)必着**
表紙の部門名上部の○を指定の色で塗りつぶすこと。ラジオは「赤」、テレビは「青」とする。
 - ・作品…**12月14日(水)**に持参し、受付時に提出する。

- ③提出メディアは、出品作品のみを記録すること。(メニューを入れない)
- ④提出メディアは、誤録防止のための処置をする。
(例) クローズ (ファイナライズ) 処理など。
- ⑤ケースの表に、規定に準じたラベルを印刷する。※自作可能
CD-R ・ DVD-R ・ BD-R 各メディア本体については、シールを貼らずにディスクに直接印刷(※様式は本大会ホームページからダウンロード)するか、項目(①部門名、②エントリー番号、③県名、④学校名、⑤作品名、⑥メディアの種類)をプリンターで直接印字するか、ペンで手書きをする。
バックアップには「バックアップ」と明記する。
- ⑥作品の題名は副題も含めて15文字以内とする(厳守)。
※作品名が英字のみの場合は、半角文字で30文字(スペース含む)まで可とする。
- ⑦作品の中で用いる音楽・絵画・写真等の著作権を伴う著作物については、確実に著作権、著作隣接権処理を済ませておくこと。特に音楽は、自作自演、もしくは著作権フリーの楽曲を用いるのが望ましい。著作権を伴う著作物については、その一覧を番組進行表末尾に添付する。
※いわゆる著作権フリーの音源素材等であっても、インターネット上のものを利用することは厳禁とする。
ただし、NHK クリエイティブライブラリー、アーキー (Free Sound Effect の素材) 及びEX インダストリーについてはその限りではない。
- ⑧JASRAC への手続き及び支払いは各校でおこない、その書類の写しを番組進行表末尾に添付し提出する。
- ⑨応募された参加作品の著作権は、制作者(応募した学校)と主催者に共同して帰属する。詳細に関してはNHK 杯全国高校放送コンテストの規定に準じる。
- ⑩決勝では、作品再生前に代表生徒が登壇し、学校名と作品名のみ発表する。
- ⑪番組進行表は、NHK 杯に準ずる形で作成し、1部提出する。
1 頁…学校名・作品名・タイム・制作意図(200字程度)・スタッフ・キャスト
2 頁…CUE シート
必要枚数を綴じ合わせる。
最終頁…使用著作物一覧
チェック用紙
著作権処理確認資料(右上に著作物番号を朱書きする)
- ⑫番組進行表に記載した制作意図は、所定の様式(本大会ホームページよりひな形をダウンロード)に各県事務局がまとめて入力して提出する。
- ⑬返却
今年度(第38回大会)より、作品・番組進行表は決勝終了時に返却しない。

14. 参加資格

- ①開催年の12月現在、九州各県高等学校文化連盟加盟校に在学する生徒(ただし高等学校最終学年及びそれに該当する学年を除く)。また、以上の生徒が制作した作品であること。
- ②各部門への参加は、各県高等学校文化連盟放送専門部の推薦によるものとする。
- ③アナウンス・朗読部門への参加は、1名1部門とする。
- ④番組部門への参加は、1校1作品とする。ただし、各県大会までの参加は1校1作品に限定しない。
- ⑤他のコンテストに出品した作品は参加できない。また、当コンテストに参加した作品を他のコンテスト等へ出品することは認めない。

15. 各県からの推薦について(詳細は、事務局宛連絡にて知らせます)

- ①県からの推薦は、本大会ホームページからひな形をダウンロードし、必要事項を入力して、**11月25日(金) 17:00**までにメールに添付して提出する。
- ②番組制作意図のデータは、**12月2日(金) 17:00**までにメールに添付して提出する。
- ③推薦には、別紙のエントリー番号を使用する。
- ④申込みは各県事務局が一括して本大会実行委員会事務局へ提出する。
※学校・個人からの個別の受付はおこないません。

16. 大会参加費および研修資料代、著作権に関する使用料他

①JASRAC への支払い手続きについて

九州大会事務局の一括申請はおこないません。各校でそれぞれ支払いをおこなってください。

②エントリー料

大会参加費及び研修資料代として、全部門とも1名もしくは1作品につき 4,000 円とします。納入は各県の事務局を通して県単位で一括納入してください。

納入期限：12月2日(金) 口座番号：別紙事務局向け文書を参照してください。

③宿泊・弁当代等について

本大会の宿泊業務取り扱いには旅行社から別紙案内を送ります。変更が生じた場合も、旅行社に連絡してください。

※諸締切日のまとめ

提出締切日 (必着)	提出するもの	提出方法	
		【郵送又は持参】	【データ添付】
11月25日(金)	各県からの推薦		○
12月2日(金)	アナウンス・朗読原稿3部	○(郵送)	
	番組制作意図のデータ		○
	番組進行表1部	○(郵送)	
	エントリー料金納入	指定口座振込	
12月14日(水)	番組作品及びバックアップ	○(持参)	

17. エントリー番号表

	アナウンス部門	朗読部門	ラジオ番組部門	テレビ番組部門
大分	4 7 16 21 25 29 38 43 50 56 64 72	2 8 13 22 27 32 41 45 54 57 61 70	7 14 18 27 34	6 11 24 30 40
沖縄	6 11 24 36 46 52 55 67	1 14 28 34 40 51 58 71	8 15 22 26 33	5 12 19 28 36
熊本	10 12 19 33 39 47 60 65	6 11 24 36 46 52 55 67	3 9 21 31 37	8 15 22 26 33
佐賀	1 14 28 34 40 51 58 71	10 12 19 33 39 47 60 65	4 13 17 29 38	3 9 21 31 37
鹿児島	3 15 23 31 42 48 59 68	9 18 26 35 44 49 62 66	1 10 23 25 39	7 14 18 27 34
福岡	2 8 13 22 27 32 41 45 54 57 61 70	4 7 16 21 25 29 38 43 50 56 64 72	5 12 19 28 36	1 10 23 25 39
宮崎	5 17 20 30 37 53 63 69	3 15 23 31 42 48 59 68	2 16 20 32 35	4 13 17 29 38
長崎	9 18 26 35 44 49 62 66	5 17 20 30 37 53 63 69	6 11 24 30 40	2 16 20 32 35

18. 様式規定

様式規定1 アナウンス・朗読部門原稿規定

1-1 表紙

1-2 原稿用紙

様式規定2 番組部門のラベル規定

様式規定3 テストパターン (カラーバー) 16:9仕様

様式規定4 番組部門番組進行表

4-1 表紙 (制作意図、スタッフ・キャスト)

4-2 CUEシート

4-3 使用著作物一覧

4-4 チェックシート

※様式規定4の一式はA4サイズ、左上一カ所をホチキスで綴じること。

また、両面印刷はしないこと。

様式規定2 BD・DVD・CD ラベル規定

サンプルを示します。内容が分かれば、自作してもかまいません。

a) BD・DVD・CD ケースの表に貼付するラベル

第38回九州高校放送コンテスト大分大会			
エントリー 番号		県 名	
学校名			
部門名			
作品名			

b) BD・DVD・CD 本体

再生トラブル防止のため、シールを貼らないでください。

大会公式ホームページから以下の様式をダウンロードし、メディアに直接印刷して提出してください。

※メディアに印刷する環境がない学校は、必要事項をマジック等で手書きしてもよい。その時は、①部門名、②エントリー番号、③県名、④学校名、⑤作品名、⑥メディアの種類(CD-R・DVD-R・BD-R)、⑦マスター or バックアップ、を記入する。

【ホームページからダウンロードするラベル】



【手書き例】



様式規定3 テストパターン (カラーバー)

16 : 9仕様のみ



番組進行表 表紙

様式4-1 表紙

都道府県			部門
------	--	--	----

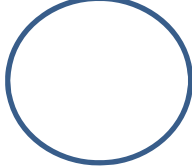
エントリー番号
記入しないで下さい。

ふりがな	
学校名	

※ 正式名称を記入してください

ふりがな	
作品名	

※ プログラムには全角15文字までしか表示されません

	ラジオ番組は赤 テレビ番組は青
日本音楽著作権協会	

制作意図 [200字程度]

再生時間	分	秒
------	---	---

スタッフ・キャスト(キャストはドラマ調の場合のみ)

CUEシート

様式4-2 CUEシート

音声レベル		時間		著作物		内 容
放送	BG	分	秒	番号	分類	

CUEシート(記入例)

様式4-2(記入例)

音声レベル 放送	BG	時間		著作物		内	
		分	秒	番号	分類		
		0	00			カラーバー ←テレビ番組の場合のみ記入	
			01	①	効果音	・猫の鳴き声	
			03			あまね「〇〇、〇〇〇〇〇〇。(中略) 〇〇〇〇〇〇。」	
			03			あまね「〇〇、〇〇〇〇〇〇。(中略)	
			10	②	効果音	・猫を抱き上げる音 〇〇〇〇、〇〇〇〇〇〇…。」	
			16	③	効果音	・靴音	
			17	4	楽曲	・CD「夢 instrumental」	
			20			タイトルコール「雨ときどき小雪」	
			26	⑤	効果音	・「チャイム」	
			27	6	効果音	・廊下を走る音	
			29	⑦	効果音	・扉の開閉音	
			31			あまね「〇〇、〇〇〇! 〇〇〇!」	
			31			猫「×××××。」	
			36			あまね「〇〇? 〇? 〇〇… 〇〇〇! ?」	
			42			ナレーション「△△△。(中略) △△△。」	
			55			ナレーション「△△△。(中略) △△△。」	
			4	27	⑱	楽曲	・CD「School Life music vol.12 黄昏セレナーデ」
			37			あまね「〇〇〇。(中略) 〇〇〇。」	
			5	02	19	静止画	・猫の写真
			04			ナレーション「△△△。(中略) △△△。」	
			10	20	新聞	・平成×年×月×日付◇◇新聞朝刊コラム	
			30			写真や新聞記事等の著作物(映像)は、使用開始時間のみ記入する。	
			32	21	楽曲	・本校吹奏楽部演奏「□□高校校歌」	
			7	10	31	楽曲	・CD「School Life music vol.14 郷愁ラブソニー」
			13	⑳	効果音	・効果音集「雀の鳴き声」	
			15			あまね「〇〇〇、〇〇〇。〇〇、〇〇〇。」	
			23	㉑	効果音	・扉の開閉音	
			25	㉒	効果音	・階段を下りる音	
			27			あまね「〇〇ー!」	
			33			ナレーション「△△△。(中略) △△△。」	
			42	34	楽曲	・CD「The Best of Best 光の朝」	
			45			ナレーション「△△△、△△△△△。」	
			55			クレジットコール「制作は〇〇県立〇〇〇高等学校 放送部でした。」 ←ラジオ番組の場合	
			55			番組終了 ←ラジオ番組の場合	
			55			クレジットタイトル「制作 〇〇県立〇〇〇高等学校 放送部」 ←テレビ番組の場合	
			55			カラーバー ←テレビ番組の場合	

セリフ等は、最初と最後の文章を記入する。(一文程度。全文を記入してもよい。)

セリフの途中で効果音が入る場合は、効果音が入る場所が分かるよう記入する。

音楽は、はじまりと終わりの時間を記入する。

写真や新聞記事等の著作物(映像)は、使用開始時間のみ記入する。

著作物番号は、様式4-3の著作物番号と一致させること。同一の著作物を複数回使う場合は、著作物番号等、前出のものと同じにする。

使用著作物一覧表

様式4-3 著作物一覧

部門名

作品名

学校名

著作物番号	分類	著作物名 (曲名・題名など)	著作者名 (作詞・作曲者など)	許諾書	著作隣接権者名 (歌手・演奏者・レコード会社など)	許諾書	オリジナルの所有者
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							

記入について:分類には、楽曲・効果音・写真・新聞等を記入する。

レコード協会に所属するCD会社の著作隣接権の許諾は、使用許諾書(様式自由)を使用し、その写しを添付する。

JASRAC管理の著作物については、〈利用明細書〉の写しを添付する。

JASRAC管理外の著作物については、〈許諾を示すもの〉を添付する。

著作権処置が不要なものについては、番号に○をつける。

著作権フリーなど、著作権処理のいらぬ音源を使用したときは、著作権処理不要〈利用条件〉の書いてある書面のコピーを添付する。

[なお、(株)アーキー・(有)EXインダストリーのもの、コピー不要。]

使用著作物一覧表

様式4-3(記入例)

部門名 テレビ番組 作品名 あまねと猫の・・・日常? 学校名 ○○県立○○高等学校

著作物番号	分類	著作物名 (曲名・題名など)	著作者名 (作詞・作曲者など)	許諾書	著作隣接権者名 (歌手・演奏者・レコード会社など)	許諾書	オリジナルの所有者
①	効果音	猫の鳴き声			○○高校放送部生徒(自作)		○○高校放送部
②	効果音	猫を抱き上げる音			○○高校放送部生徒(自作)		○○高校放送部
③	効果音	靴音			○○高校放送部生徒(自作)		○○高校放送部
4	楽曲	夢 instrumental	作詞 松木 陸 作詞 山本達郎	JASRAC	ボニーキャニオン	○	○○高校生
⑤	効果音	School Life Soundeffect vol.7(チャイム)	アーキー(株)				○○高校放送部
6	効果音	バクター効果音ライブラリー(廊下を走る音)			バクターエンターテインメント	○	○○高校放送部
⑦	効果音	扉の開閉音			○○高校放送部生徒(自作)		○○高校放送部
~~~~~							
⑱	楽曲	School Life music vol.12(黄昏セレナーデ)	アーキー(株)				○○高校放送部
19	写真	猫の写真	古田博俊カメラマン	○			○○高校生
20	新聞	平成×年×月×日付 ◇◇新聞朝刊コラム	◇◇新聞社	○			○○高校生
21	楽曲	□□高校校歌	作詞 □□高校校歌制作委員会 作曲 板本公則	□□高校 JASRAC	□□高校吹奏楽部	○	
~~~~~							
⑳	楽曲	School Life music vol.14(郷愁ラブソディー)	アーキー(株)				○○高校放送部
㉑	効果音	雀の鳴き声			○○高校放送部生徒(自作)		○○高校放送部
㉒	効果音	階段を降りる音			○○高校放送部生徒(自作)		○○高校放送部
34	楽曲	The Best of Best(光の朝)	(株)サウンドインダストリー	フリー			○○高校放送部

記入について:分類には、楽曲・効果音・写真・新聞等を記入する。

レコード協会に所属するCD会社の著作隣接権の許諾は、使用許諾書(様式自由)を使用し、その写しを添付する。

JASRAC管理の著作物については、〈利用明細書〉の写しを添付する。

JASRAC管理外の著作物については、〈許諾を示すもの〉を添付する。

著作権処置が不要なものについては、番号に○をつける。

著作権フリーなど、著作権処理のいない音源を使用したときは、著作権処理不要〈利用条件〉の書いてある書面のコピーを添付する。

[なお、(株)アーキー・(有)EXインダストリーのもの、コピー不要。]

音源使用許諾申請書

様式4-4 音源許諾

[九州高校放送コンテスト] 【録音・録画】

申込日 平成 年 月 日

(レコード会社名)

御中

申請者	住所	〒		
	学校名 団体・法人名			
	代表者名			
	TEL		FAX	
	担当部署		担当者名	印
	連絡先等	(TEL)	(FAX)	
	e-mailアドレス			

使用音源	使用音源タイトル			
	商品(CD)名			
	商品番号		トラック番号	曲目

使用目的

「第38回九州高校放送コンテスト」(高校生自作の[ラジオ・テレビ]番組)に応募し、審査を受けるため(なお、受賞作品として放送・webで公開されることがあります。)

使用対象	応募作品のタイトル			
	録音録画物の種類	CD-R	DVD-R	BD-R
	録音録画の数量	枚	音源使用時間	秒

音源使用申請に対する回答書

平成 年 月 日

(学校名) _____ 学校

(ご担当者名) _____ 殿

レコード会社	担当部署
責任者	担当者名
住所	〒
TEL	FAX
e-mail アドレス	

上の条件に関し、

- A. 残念ながら許諾できません。別の楽曲をお使いください。
- B. 下記条件にて複製許諾を承認します。

〈使用条件〉

取材許諾・著作物等ご提供のお願い

平成 年 月 日

様(御中)

このたびは、九州高校放送コンテストの応募作品にご協力をいただき、まことにありがとうございます。
ご協力をいただく作品につきまして、下記利用方法での活用に承諾をいただきたく、ご依頼申し上げます。
どうかよろしく願いいたします。

◎ 許諾または提供いただくもの

内容	備考

◎ 依頼者

学校名(団体名)

代表者(顧問)名

所在地

連絡先

担当者(制作者)名

応募作品名

電話 _____ FAX _____

【利用方法】

- ① 九州高校放送コンテスト(地区大会・九州大会)での公開
- ② 九州高校放送コンテスト大会事務局による作品の使用
広報、大会のホームページ
- ③ 九州高校放送コンテスト大会事務局による作品の部分使用

太枠内にご記入ください

許諾書

平成 年 月 日

学校名

担当者名 _____ あて

私は、今回協力する作品やその作品素材の映像・音声^が保存され、上記の利用方法で活用されることを許諾します。

なお、この件については、(無償 ・ 次の条件: _____)で許諾することとします。

◎ 許諾者

ご所属

ご職位

ご署名

チェック用紙

様式4-6裏表紙

都道府県		部門	エントリー番号
学校名		作品名	
学校住所	〒		顧問名
	TEL		FAX
			顧問連絡先 (携帯電話など)

確認欄	様式4-1	様式4-2	様式4-3	その他の許諾書	様式4-1の○印色付け	様式4-4	様式4-5	CD-R DVD-R BD-R	確認者
出品校									
都道府県担当者									

※確認後は必ず✓チェックを入れてください。

※ 以下は記入しないでください。

確認欄	内 容	都道府県連絡	受付	審査部	判定
様式4-1	表紙				
	制作意図				
	あらすじ(ドラマ)	※九州大会はドラマ調であっても、あらすじは不要			
	スタッフキャスト				
CUEシート 様式4-2					
著作物一覧 様式4-3					
チェック用紙 様式4-4					
取材許諾 様式4-5					
著作権(JASRAC)					
許諾申請書 隣接権 様式自由					
CD/DVD/BD					
裏表紙 様式4-6					